

China Aviation Pavilion

# 中国航空館

名称

中国航空館

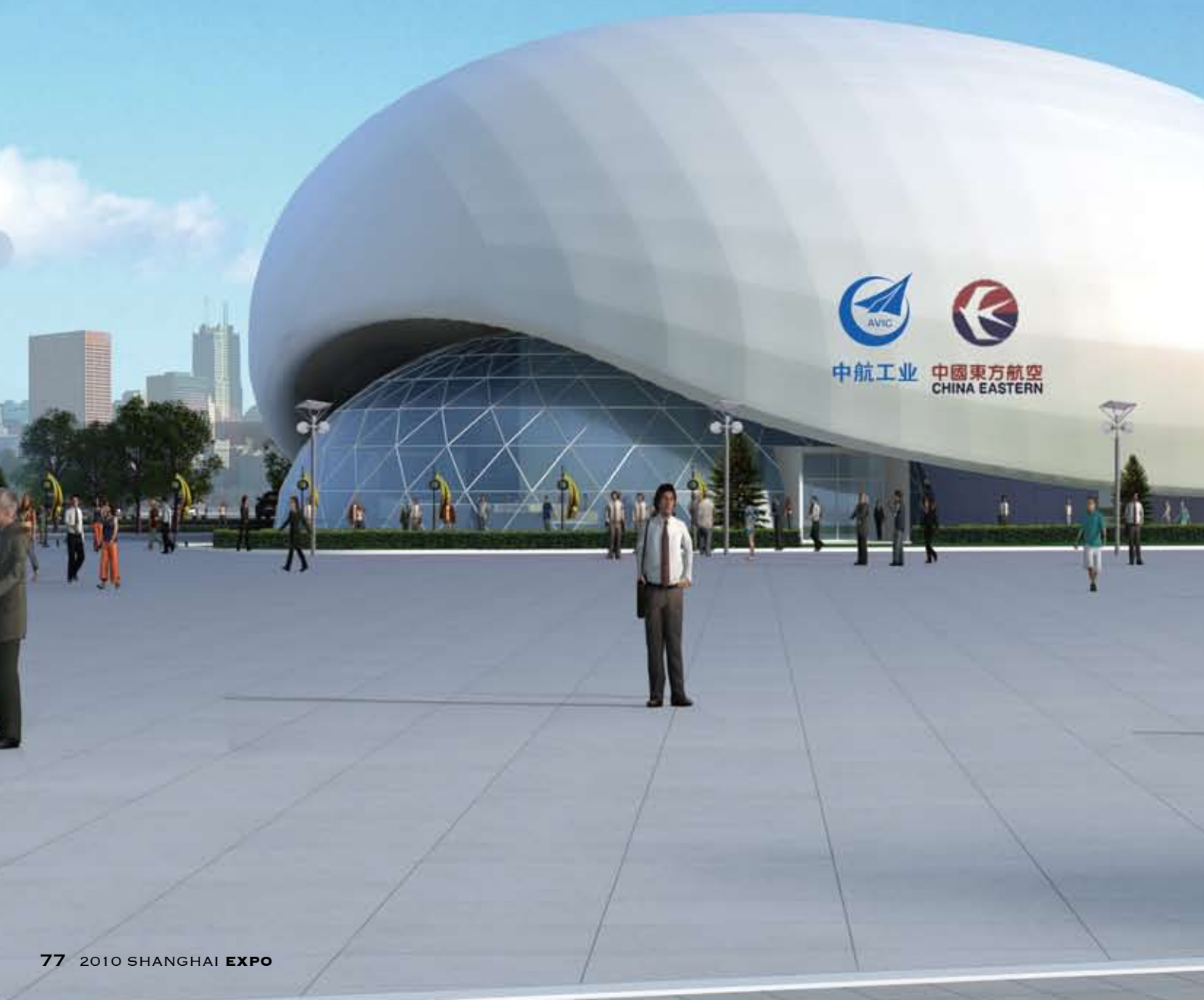
ロケーション

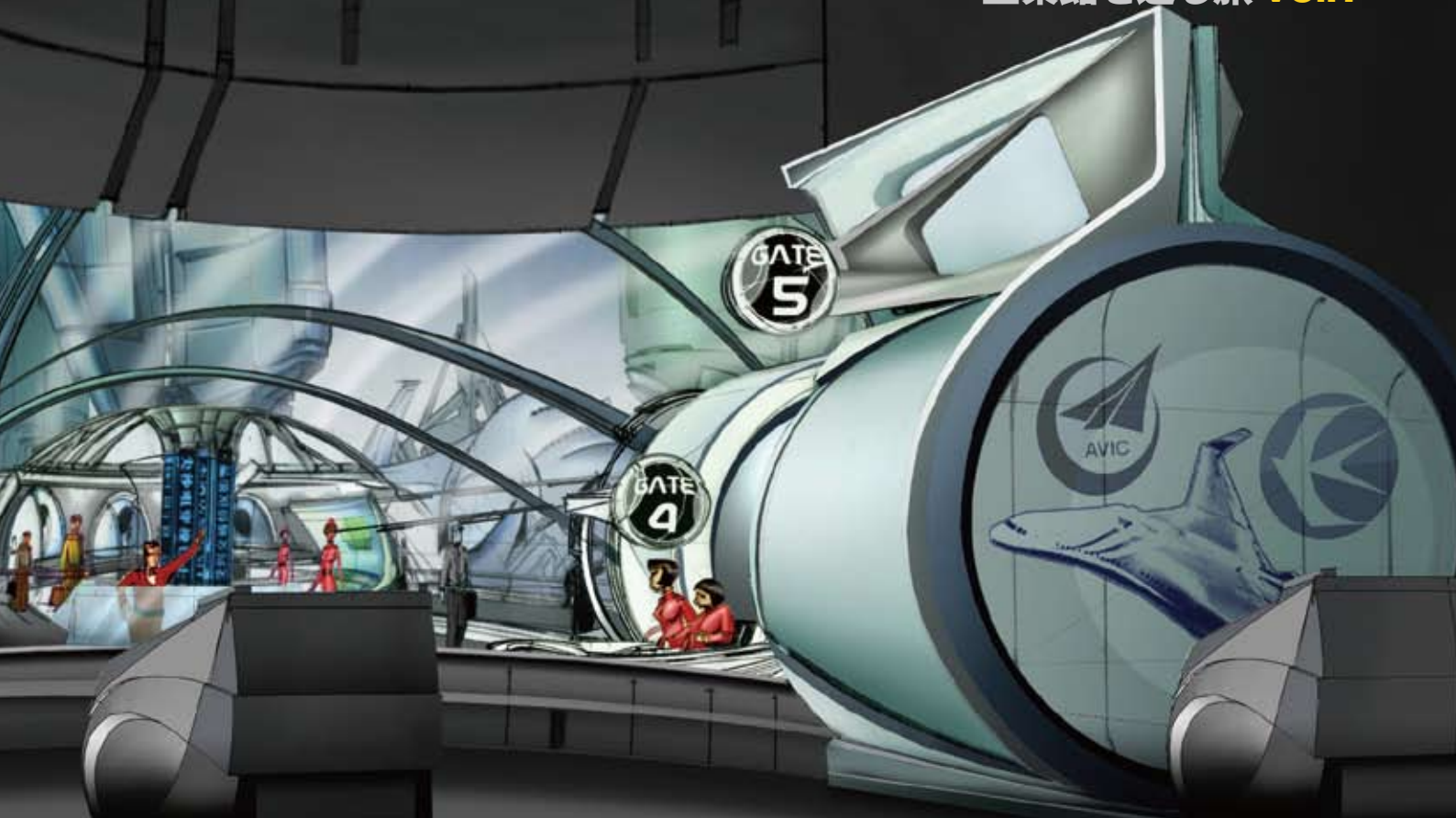
浦西万博会場 Eエリア

敷地面積

4000平方メートル

# A Preview of China Aviation Pavilion





## コンセプト

中国航空館の建築は幻のように形を変えて「雲」の形をしている。真っ白の膜素材はパビリオンの外観をやわらかく包み、来場者に「雲」を連想させ、さらに「飛ぶ」というコンセプトを表現し、人類が地球の引力を超越する夢、未知の世界に対する想像や探求の願いを示す。航空事業は人類が夢を追う手段となる運命にあるのだ。

## 見学体験

中国航空館はインタラクティブな形で航空科学技術と航空サービスの発展および人々の生活にもたらした大きな変化を説明する。

来場者が航空館の広々としたエントランスホールに入るとリアルな飛行体験が始まる。

航空館のメイン展示エリア独特の地上搭乗システムがあり、来場者はミニカーに乗り、4D映画を見ながら、さまざまなスピード、サウンド、光、電気、気体、水などによる特殊効果で作られた完璧な飛行体験をする。

模擬フライトエリアでは、航空愛好者にさらなる驚きと喜びを与えるだろう。ハイテクを駆使した模擬台と飛行路線が呼応して、体験者に飛行の楽しさを存分味わえるのだ。

また、航空館は身体障害者のために専用の通路も用意している。

## 省エネ

航空館は二重屋根構造を採用して空気を導入し、エコ基準に合致する独特の生態層を形成する。建築全体は白いPVC膜構造に覆われ、まるで遮光テントのようである。特に屋上で膜の間にある1メートルから1.5メートルの空間層は、真夏の屋上の熱問題を解決し、エネルギー消費を有効的に低減できた。

航空館の屋内外の待ち合わせエリアの大部分はPVC膜により影が作られており、日よけや雨よけの場所を見学者に提供し、さらにウォーター・スプレー・システムは来場者に心地よい環境を作っている。

## 環境保護

季節や昼夜などの時間的特長を考慮し、航空館は各展示ホールの使用機能に基づいた空調システムを使い分けし、温度調整装置を設けることで省エネを図る。

館内の空調設備が設置されている部屋は保温や熱の遮断のための建材が使われ、エネルギーの消耗を節減する。空調設備や非空調エリアにある空調冷水パイプや

# A Preview of China Aviation Pavilion



通風パイプなどは保冷措置が取られ、無駄なエネルギーを最大限に減少させる。通風や空調設備は低騒音、高能率の製品

を使用し、フレッシュ・ウィンドと空気排出リサイクル技術を最大限に利用する。